

## 正会員 25校5団体

観啓大学  
 エリザベト音楽大学  
 近畿大学工学部  
 呉工業高等専門学校  
 県立広島大学  
 山陽女子短期大学  
 島根県立大学  
 日本赤十字広島看護大学  
 比治山大学  
 比治山大学短期大学部  
 広島経済大学  
 広島工業大学  
 広島国際大学  
 広島修道大学  
 広島女学院大学

広島市立大学  
 広島大学  
 広島都市学園大学  
 広島文化学園大学  
 広島文化学園短期大学  
 広島文教大学  
 福山大学  
 福山平成大学  
 安田女子大学  
 安田女子短期大学  
 広島県教育委員会  
 広島市教育委員会  
 呉市教育委員会  
 福山市教育委員会  
 広島県私立中学高等学校協会

## 準会員 3校

尾道市立大学  
 福山市立大学

放送大学広島学習センター

## 賛助会員 56団体

紀伊国屋書店(中国営業部) / 中国新聞社 / 広島銀行 / 広島信用金庫 / 大学生協中国・四国事業連合 / 広島電鉄 / モルテン / 凸版印刷(中国事業部) / 進研アド(中・四国支社) / 広島商工会議所 / 中電工(広島統括支社) / リクルート / もみじ銀行 / 五洋建設(中国支店) / 清水建設(広島支店) / 合同総研 / 丸善雄松堂(広島支店) / 広島市信用組合 / 西日本電信電話(中国支店) / フジタ(広島支店) / 野村證券(広島支店) / コトブキシーティング(中国支店) / SMBC日興証券(広島支店法人部法人課) / ひろしま管財 / アポアエンジニアリング / 中国電設工業 / A・I・O 広島マネジメントシュラトランドホテル広島 / オオケン / ムロオシステムズ / 山菊 / ワイテック / テレビ新広島 / 広島テレビ放送 / 広島ガス / 広島ホームテレビ / 広島マツダ / 日本システム技術(GAKUEN 事業部) / 中国放送 / ひろぎん IT ソリューションズ / アンデルセン・パン生活文化研究所 / パナソニックコネクタ(現場ソリューションズ) / アンドルセン・パン生活文化研究所 / 廣告社(広島支店) / ゼネラルスチール / 三菱地所設計(関西支店広島事務所) / JTB(広島支店) / オカムラ(広島支店) / リーガロイヤルホテル広島 / コクヨマーケティング(中国支店) / 田中電機工業 / アスティ / 大方工業所 / 日立製作所(中国支店) / イズミ / 御堂筋法律事務所(広島事務所) / IGL 学園 / 大旗連合建築設計 /

## 会費・参加費

基本会費 大学 22 万円(同一学校法人設置大学・短期大学 10 万円)短期大学 18 万円  
 高等専門学校 10 万円・教育団体会費 10 万円、5 万円、3 万円  
 学部学生数 1 人につき 60 円  
 (短期大学、県外大学、福山市尾道市の大学、高等専門学校は免除)  
 3 万円  
 準会費 1 口 3 万円  
 賛助会費 1 高校につき 3 千円(正会員は免除)  
 高大連携事業会費

## 理事・監事

代表理事	長坂 康史	(広島工業大学 学長)
理事	石田 俊子	(広島経済大学 学長)
理事	大塚 豊	(福山大学 学長)
理事	越智 光夫	(広島大学 学長)
理事	川野 祐二	(エリザベト音楽大学 学長)
理事	坂越 正樹	(広島文化学園大学・広島文化学園短期大学 学長)
理事	瀬山 敏雄	(安田女子大学・安田女子短期大学 学長)
理事	三谷 高康	(広島女学院大学 学長)
理事	森下 要治	(広島文教大学 学長)
理事	森永 力	(県立広島大学 学長)
理事	焼廣 益秀	(広島国際大学 学長)
理事	矢野 泉	(広島修道大学 学長)
理事	若林 真一	(広島市立大学 学長)
監事	荻原 昭夫	(近畿大学工学部 学部長)
監事	古澤 幸治	(広島都市学園大学 学長)
監事	宮谷 真人	(比治山大学・比治山大学短期大学部 学長)

## 組織図



2023. 6. 26 現在 |

## 教育ネットワーク中国 一連携・協力・共助をめざして

一般社団法人教育ネットワーク中国は、広島の高教育機関が連携・協力することにより、広島の高教育機関全体が魅力あるものとなり、各大学の学生の多様なニーズに応え、学ぶ意欲をもった人たちに多く学習機会を提供することを目的として1998年に設立され(設立当初組織名: 広島県高等教育機関等連絡協議会)、本年で26年目となりました。その間、教育ネットワーク中国が関わる事業は年々増加してきましたが、皆様のご支援とご指導により現在がありますことを深く感謝申しあげます。教育ネットワーク中国の事業は大学・短期大学、地方公共団体、高等学校、企業など、それぞれが持っている資源を相互に提供し合う形で実施されており、会員の皆様の連携と協力、助け合いによって成り立っています。

## 設立から現在まで

- 1997. 10. 7 「協力し連携することによって広島の高教育機関全体がレベルアップし、魅力あるものとなる」ことをめざして、広島修道大学学長、広島工業大学学長が協議会の結成呼びかける。
- 10. 31 協議会設置準備会を開催。
- 12. 15 広島修道大学学長、広島工業大学学長、広島経済大学学長、安田女子大学学長が協議会の設立発起人となる。
- 1998. 4. 1 広島県高等教育機関等連絡協議会発足。広島県教育委員会、財団法人広島県教育事業団の協力を得て、30の大学・短期大学が参加。事務局を広島県生涯学習センターに置く。
- 1999. 4. 1 単位互換及び生涯学習事業を始める。
- 2002. 4. 1 広島県高等教育機関協議会と改称、高大連携事業を始める。
- 2003. 4. 1 大学院単位互換事業を始める。
- 11. 27 全国大学コンソーシアム協議会設立、呼びかけ団体となる。
- 2005. 4. 1 教育ネットワーク中国と改称。広島県私立中学高等学校協会加盟。
- 2006. 4. 1 広島市教育委員会、呉市教育委員会加盟。
- 6. 17 教職員研修会を開始。
- 2007. 4. 1 高大連携科目等履修生制度の開始。教育ネットワーク中国設立10周年。第4回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム開催。(会場: 広島修道大学)
- 2008. 3. 21 中国新聞社との包括的連携協力協定を締結。
- 8. 20 文部科学省「戦略的連携支援事業」採択。(～2010年度)
- 12. 25 事務局を広島県自治会館内に移転。
- 2009. 4. 1 南大阪地域大学コンソーシアムと単位互換制度に係る包括協定締結。中国新聞キャンパスリポーター募集開始。
- 5. 1 「広島県大学コンソーシアム支援事業」補助金受託。(～2011年度)
- 2011. 4. 1 一般社団法人登記(一般社団法人教育ネットワーク中国と改称)広島県留學生生活支援センター設置。折りづるみこし連参加。(～2018年度)
- 2012. 4. 1 広島県留學生生活支援センターをひろしま国際センターへ移管。
- 4. 10 事務局を広島修道大学インターナショナルハウスに移転。
- 2013. 4. 9 広島県民文化センター5階に開設されたサテライトキャンパスひろしまに単位互換科目・高大連携公開授業、公開講座・生涯学習講座を提供。
- 2014. 4. 1 広島県教育委員会加盟。
- 2015. 8. 7 シャレオ大学生コンサート開催。
- 2016. 4. 1 尾道市立大学、福山市立大学準会員加盟。
- 2016. 9. 10 第13回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム開催。(会場: エリザベト音楽大学、広島国際大学 広島キャンパス)
- 2017. 4. 1 一般社団法人教育ネットワーク中国設立20周年。
- 2018. 4. 1 福山大学、福山平成大学、福山市教育委員会加盟。
- 2019. 4. 1 放送大学広島学習センター準会員加盟。
- 2021. 4. 1 観啓大学加盟。



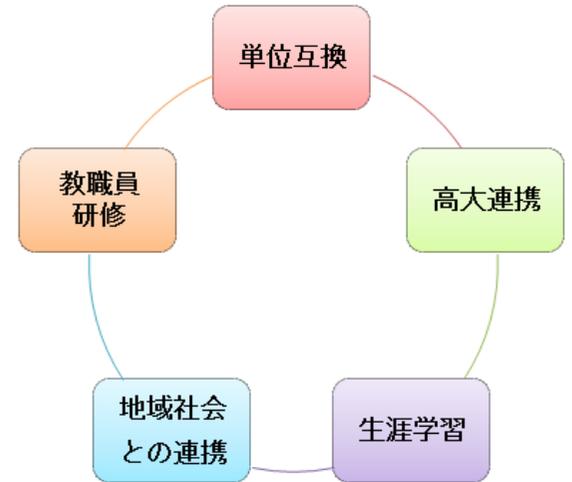
### ロゴマーク

【コンセプト】

教育ネットワーク中国の教育(education)のeとネットワークのn(Nの小文字)と中国のcを基に制作しました。小文字nをその形から橋のイメージを意図したフィクション、ノンフィクション問わず橋を大勢の人々で協力し建造する物語は数多くあり、そのことから、このロゴのテーマに最適に思いました。その橋の左の卵形をしたeから何か新しいものが生まれて橋を渡っていくようなイメージです。設立10周年記念の公募で選定しました。



# 一般社団法人 教育ネットワーク中国 2023



〒730-0803

広島市中区広瀬北町9-3

広島修道大学インターナショナルハウス内

TEL : 082-533-7590 FAX : 082-533-7591

E-mail : office@enica.jp URL : https://www.enica.jp/

公式Twitter : https://twitter.com/enicaoffice



## 単位互換事業

自大学に開講されていない授業科目や学びたい他大学の授業科目を受講することを目的としている。

単位互換協定を締結した大学の学生は、所属大学の許可を得て出願し、他の大学において取得した単位は学生の所属する大学の単位として認定される。

### 経緯

1998年11月27日、単位互換包括協定を結び、10大学9短期大学が参加して、1999年4月から学部単位互換を始める。

2000年度から「ボランティア活動」(マツダ財団寄付講義)を開始。

2005年度から教職課程科目の提供を始める。

2008年度から「現代マスコミの動きを知ろう」(中国新聞社寄付講義)を開始。

2009年度から南大阪地域大学コンソーシアムとの広域型単位互換制度を始める。

2010年度から後期提供科目の追加募集を始める。

2013年度からサテライトキャンパスひろしまを会場とするサテライト科目を開始。

2020年度から放送大学が単位互換包括協定に参加。

### 特色ある科目

- \*中国新聞寄付講義 広島経済大学「メディアビジネス特論」
- \*マツダ財団寄付講義 広島市立大学「地域ボランティア活動」
- \*特色ある科目群 「広島を学ぶ」「世界的課題を学ぶ」「キャリア形成を学ぶ」「主体的に学ぶ」
- \*開講方法 対面、オンライン(同時・録画・資料提示)、体験(宿泊)型
- \*教職課程科目 エリザベト音楽大学「教育原理」広島修道大学「教育哲学」安田女子大学「からだの科学A」広島文教大学「書写書道演習」広島都市学園大学「学校経営論」「回想療法」南大阪地域大学コンソーシアム「高野山で学ぶキャリアとわたし」広島市立大学「平和と人権A(ヒロシマと国際平和)」2023.4~提供
- \*広域型単位互換科目

### 履修者数

包括協定校25校 ※放送大学・広域型単位互換2校を含む

	1999年度	2020年度	2021年度	2022年度
提供科目数	86科目 →	189科目	184科目	194科目
①延べ履修者数	213人 →	5人	24人	24人
②実質履修者数	164人 →	5人	19人	19人

## 高大連携事業

高大連携は、大学の授業科目の高校生への公開を通じて、高校生が大学の高度な教育・研究に触れ、高校教育と大学教育の円滑な接続に資することを目的としている。

提供科目は公開授業(大学の正規の科目)と公開講座(高校生のための科目)から構成されている。

### 経緯

2002年3月に広島県下152高校が参加して高大連携協定を締結。

2002年4月から広島県立、広島市立、呉市立、福山市立、広島県私立各高校が参加して開始。

2003年度から広島大学附属高校と高大連携協定を締結し153校となる。

2005年度から岩国地区の高校と高大連携協定を締結し157校となる。7月18日以降に開講される授業、講座の二次募集を開始。

高大連携委員会の設置。高大連携研究交流会の開催。

三原尾道地区で高大連携公開講座を開始。

2007年度からは備北地区3会場で中大連携公開講座「大学で何を学ぶか」を開講。

2007年度から12大学・短大で高校生の科目等履修制度の開始。

2009年度から高大連携遠隔授業を中山間地区の高校と実施。(～2018年度)

2014年度からサテライトキャンパスで「大学フェアひろしま」を開催。

広島県教育委員会と高大連携協定締結。(新制度)

2015年12月に広島大学附属福山高校と高大連携協定締結。

2017年4月に岡山県立井原高校、岡山県立笠岡高校と高大連携協定締結。

### 高大連携公開授業・公開講座

開講年度	公開授業 (申込者数)	公開講座 (申込者数)	科目等履修 ※公開授業を含む
2002年	92講座 157人	24講座 153人	
	↓ ↓ ↓ ↓ ↓		
2007年	120	201	78 1,299 23講座 27人
2021年	34	85	110 3,245 14 11
2022年	32	81	114 4,398 13 11



### 大学へ行こうウィーク

おむね7月31日～8月12日の間に開講される授業・講座をチラシを作成し広報。

[2022年度：公開授業2大学2科目・公開講座12大学3短大76科目]

## 中大連携公開講座「大学で何を学ぶか」

備北地域の高校の人材育成のためにより高度な学習機会の提供

庄原地区・安芸高田地区で実施。

2022年度は32講座を提供、延べ581人がオンライン受講。

### 高大連携研究交流会

高校と大学の連携を促進するために2005年より開催。

2022年度「新課程のもとでの大学入試改革」オンライン開催。

[2022年度参加者：高校関係14人、大学関係(会員校)47人、その他5名、合計66人]

## 生涯学習事業

### 経緯

1999年度から共同開催講座と連携公開講座を広島県立生涯学習センターにおいて開講。

2001年度から広島県教育委員会と「ばれっとカレッジ」を広島県立生涯学習センターにおいて開講。

2002年度から広島市と「シティカレッジ」を広島市まちづくり市民交流プラザで開催。

2003年度から講座情報をホームページで公開。

2005年度から公開講座「これからの教師像」を開講。

2009年度より「ばれっとカレッジ」「シティカレッジ」あらたに「エニカカレッジ」を加え、総称を「ひろしまカレッジ」とし、ICカード受講証を発行。ひろしまカレッジ交流会の開催。メールマガジン(講座情報)配信開始。

2010年度よりひろしまカレッジとして「大学で開講する公開講座」開講。

2014年度より「ばれっとカレッジ」を休止、サテライトキャンパスを会場とする

「サテライトカレッジ」を開講。

2022年度末、ひろしまカレッジ受講システム新規登録を終了。

### ひろしまカレッジ



2022年度は「サテライトカレッジ」3講座、「シティカレッジ」10講座を開講し、延べ受講者数は443人、受講者数1,200人。

「大学で開講する公開講座」各大学の講座情報メールマガジン配信、WebサイトやTwitter投稿

### メールマガジン(講座情報)配信

[登録者数 約300人・配信数21]

### 学生のキャリア支援事業

「これからの教師像2022」

教員を目指す学生のキャリア形成を支援するため、2005年度からエニカカレッジとして毎年開催。

2022年度はサテライトキャンパスひろしまからWeb配信。

【プログラム】

第1講義：「求められている教師像—学校現場の学びを主体的・対話的で深い学びに変えるために私たちができること—」

第2講義：「教師としてのやりがいはいは！—感染症対策の中での児童生徒とのかかわりを通して—」

第3講義：「これからの学校現場における生徒指導のヒント—生徒指導の実践上の視点から—」

第4講義：「主体的・対話的で深い学びを実現する授業のヒント—ICTの活用を通して—」(小学校/中・高等学校)

[2022年度：15大学474人参加]

### 学生交流事業

「大学祭実行委員会Web交流会」

2022年度は大学間の学生交流を促進するため、大学祭実行委員会学生と職員による交流会を開催。

【プログラム】

・各校の2022年度大学祭の紹介

・情報交換会・交流会

[2022年度：11大学29人参加]



## 地域社会との連携

### 中国新聞キャンパスリポーター制度

- ・所属大学に関するニュースや話題、地域課題、課外活動などを取材し、中国新聞紙面「キャンパスリポーター発」や中国新聞デジタルに掲載。
- ・記事の書き方、写真の撮り方などの研修会を実施。
- ・中国新聞キャンパスリポーター交流会の開催。
- ・年間を通して優秀な学生を表彰。(最優秀賞、優秀賞、奨励賞)

- ・中国新聞紙面や中国新聞デジタルの記事を教育ネットワーク中国公式Twitterに投稿。

[2022年度新規登録17校61人、在籍者数17校197人]



### 「大学競宴!大学生コンサート」

「広島の大學生の歌声や演奏で広島を盛り上げたい」学生たちによる合同コンサートを開催。2015年度からシャレオ中央広場で開催。

2018年からは広島市中区と共催し、「大学競宴!シャレオ大学生コンサート

～なかちゃん音楽の輪」として開催。

2022年度は、3年ぶりにシャレオ中央広場で開催。また、その模様をYouTubeで配信した。

[9大学1短大18グループ出演]

<演奏動画URL> <http://www.enica.jp/concert2022.html>



### ひろしま地域カード連携コンソーシアム

2012年4月6日設立

中国新聞社・PASPY運営協議会・広島銀行・一般社団法人教育ネットワーク中国(幹事会員)

## 教職員研修

	2006年度	2009年度	2021年度	2022年度
講座数	7講座 →	5講座 →	6講座	6講座
参加者数	385人 →	386人 →	257人 ※限定配信含む	208人 ※限定配信含む

日程	2022年度 教職員研修会 テーマ	参加数
第1回 6/4(土) 【オンライン】	「新任職員研修」 テーマ：これからの大学運営と大学職員 ・講演：「大学における内部質保証」 ・グループワーク	22
第2回 7/11(月) 【オンライン】	「TPチャート作成ワークショップ(第6回)」	6
第3回 10/1(土) 【オンライン】	<教育連携事業部会と連携> 「高大連携研究交流会」 テーマ：新課程のもとでの大学入試改革 ・講演「新課程入試の動向と高大接続の課題」 ・取組紹介：4校 ・全体討議	66
第4回 10/29(土) 【オンライン】	「IR事例報告」 テーマ：高大接続(入学試験、入学前教育、初年次教育等)に関するIR事例 ・事例発表：6校 ・統括討議	44
第5回 11/26(土) 【オンライン】	<大学行政管理学会地区研究会との共催> テーマ：「大学中退予防の実際」	43
第6回 12/14(水) 【オンライン】	「TPチャート作成ワークショップ(第7回)」	4

[2022年度18会員校171人、計208人]